

2024/10/03
中部地域における中堅企業等
地域円卓会議

地方の中堅BtoB企業からの要望

株式会社スギノマシン
代表取締役副社長

杉野 岳



株式会社 スギノマシン

© 2017 SUGINO MACHINE LTD. All Rights Reserved. Z1704J

企業という存在

必要とされなければ存在し得ない

- 存在している = 必ず誰かに必要とされている
- 生き残り続けているだけでも評価されるべき事
- 貴賤は無い

社会の歯車であることを誇りに

- 何万個の部品から成り立っている装置も歯車一つ欠ければ動かない
- 「歯車」とは、絶対に必要なパーツ
- 「社会の歯車」 = 社会に欠かせない存在

会社概要

資本金： 23億2,467万5,000円

社員数： 1,000名（グループ連結1,400名）

本社： 富山県滑川市

事業内容： 工作機械、産業機械、原発関連機器、ロボット
極細繊維素材等の開発・設計、製造、販売

創業： 1936年(昭和11年)3月1日 於 大阪府

国内製造拠点： 富山（早月・滑川）、静岡（掛川）

国内営業拠点： 東京・水戸・富山（早月・滑川）
掛川・名古屋・大阪・広島・福岡



事業領域

特徴

自動車、電機、航空宇宙、土木建築、エネルギー、化学プラントから、第一次産業、医薬品、食品、半導体、水素、核融合まで、ありとあらゆる産業に装置を供給。

- ・ 常時世界各国の**5,000社以上**と取引（都度取引は数万社）
- ・ 創業以来**赤字無し**
- ・ **高利益**体質（営業利益率15～20%）

Global Niche Leader

グ ロー カ ル ニ ッ チ リ ー ダ ー

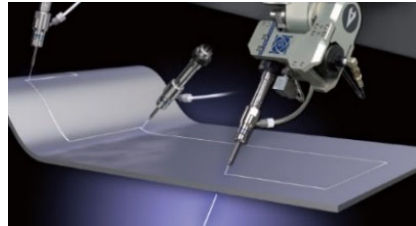
富山(ローカル) で開発・製造し、世界(グローバル) の市場で戦う。
その市場はニッチだが、「どうしてもスギノマシンの装置が必要」
と言って頂ける技術力でトップを取っていく。

売上額の 50% は 海外
生産額の 90% は 日本
その内 80% は 富山県

一万気圧超の高圧水技術をコアとした6つの「超技術」

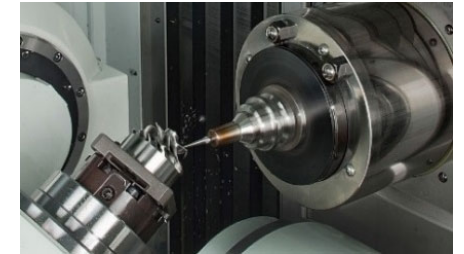
● 切る

- ・ 超高压水切断装置
- ・ 超高压水発生装置



● 削る

- ・ ドリリングユニット
- ・ タッピングユニット
- ・ 小型マシニングセンタ



● 洗う

- ・ 高压水バリ取り洗浄機
- ・ はくり・はつり用機器



● 磨く

- ・ 鏡面仕上工具・装置
- ・ 拡管工具
- ・ CASF/CWJP



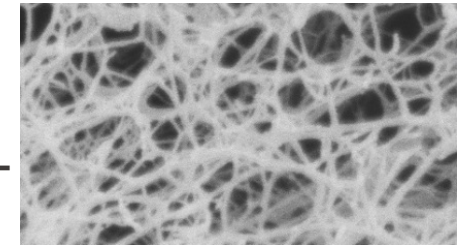
● 砕く

- ・ 湿式微粒化装置
- ・ 乾式粉碎機

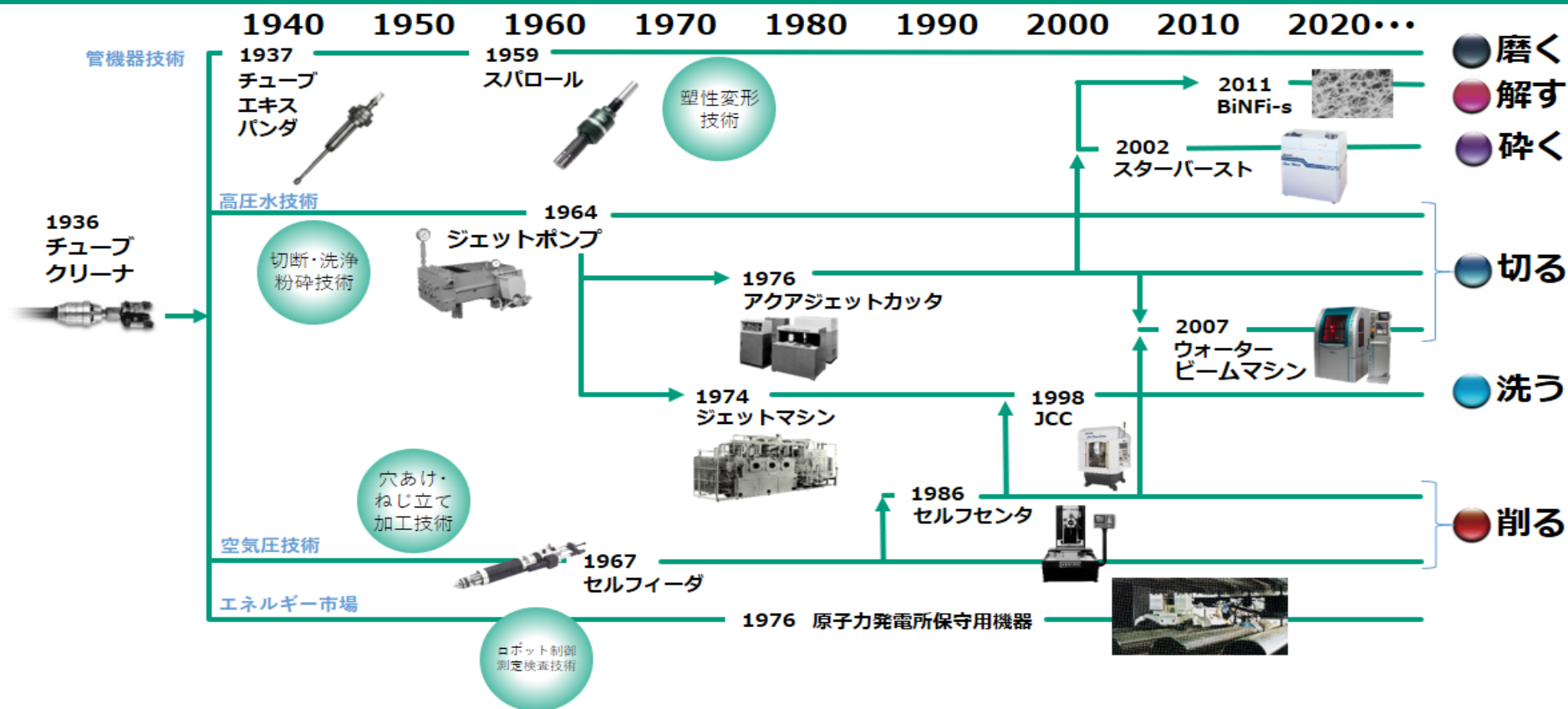


ほぐ 解す

- ・ バイオマスナノファイバー

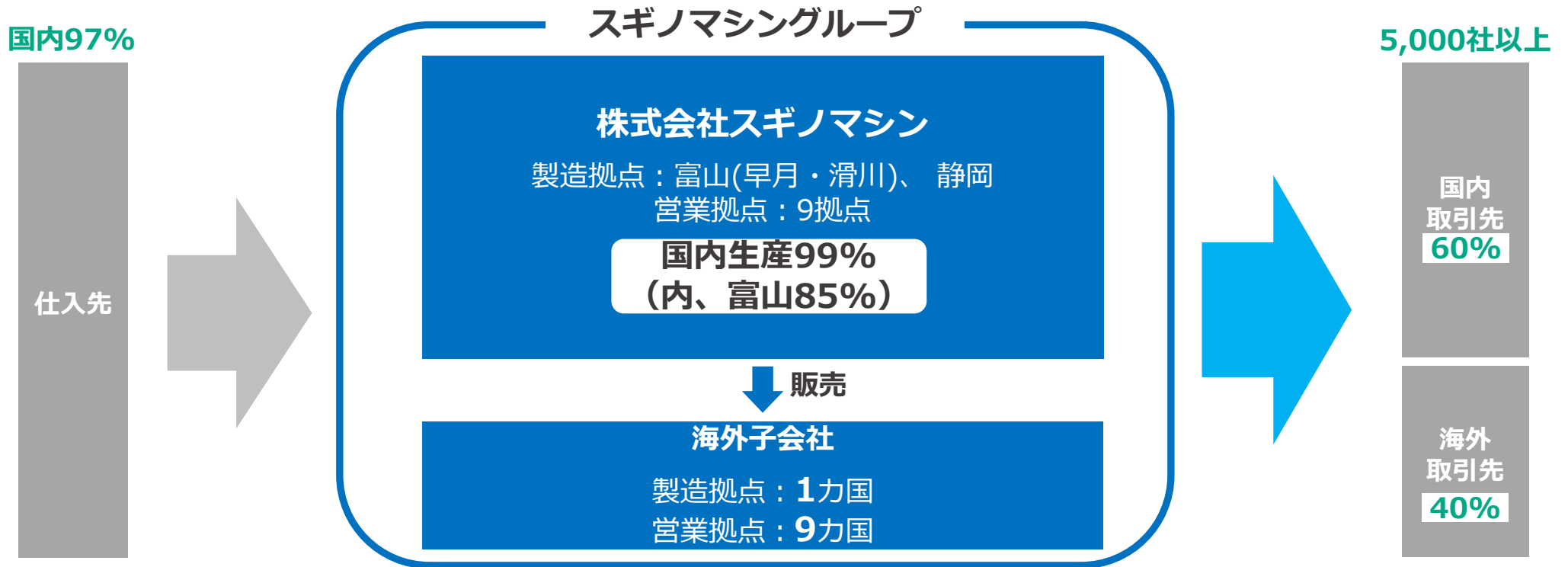


技術開発の連鎖



「当社にしかできない、どうしても必要な技術」をお客様に認めて頂くことで
高利益を生み出し、その利益を開発に回す。

「国内企業」としての価値



- 仕入先の97%は近隣地域を中心とした国内取引であるため、
地域への経済波及効果が高い
- 供給面での国際情勢のリスクが小さく、ビジネスの持続可能性が高い

地域社会と中堅企業が抱える課題



- ・富山県では、今後15年で30%の高校生の減少が確定。その後も回復の見通し無し。
- ・大企業＞中堅中小企業、都市部＞地方、大学＞高専、普通科高校＞専門高校、ホワイトカラー＞ブルーカラー など社会に定着する「階層認識の壁」の存在



能力と仕事のミスマッチに繋がっているのではないかな？
社会を維持するための適材適所が出来なくなっていくのではないかな？

地域社会と中堅企業が抱える課題

- 次世代エネルギーをはじめとした革新的、大規模な技術開発や、新たな市場の創出は、地方の一民間企業だけでは難しい。
- 産学官がばらばらに施策を実行。各地域、大学も独自の施策。重複も多い。
(産学連携、各種クラスター、ベンチャー支援など)



何処にどの様なリソースが有り、何処にどのようにアプローチしたらよいか分からない。(補助金、協業、共研など)

行政への要望①

- ①仕事に対する階層的価値観の払拭
多様な働き方、ダイバーシティ & インクルージョンの実現

必要なアクション

- ・ 中高の教育現場での学歴偏重主義の是正
特性に合った専攻を優劣の概念なく選択できる体制。
- ・ 職業倫理観の醸成や就業体験機会の拡大
就職選択以前の中高生の内から、社会や仕事を知る機会の提供。
- ・ 保護者、地域、企業の意識改革
生徒だけでなく、保護者や地域社会のバイアス払拭、地域社会からの機会提供、企業の待遇改善など。

行政への要望②

- ② 水素、核融合、電池等、次世代エネルギー関係をはじめとする革新的な技術の開発及び実用化に向けた補助

必要なアクション

- ・ ルールメイキング、妨げとなっている規制の緩和、関連法の整備等の一体的推進

例：水素開発における各種規制の撤廃など。

- ・ 日本主導によるグローバル・デファクト・スタンダードの形成

例：EV充電規格、環境・CSR認証などのデファクト奪取など。

行政への要望③

③GXやDXの推進、生産性向上やイノベーション創出などに向けたハード・ソフト両面のサポート

必要なアクション

- ・ GX、DX対応やM&A時の補助、優遇税制の創設・拡充

M&A仲介手数料やM&A後の経営人材、GX、DX導入後の運営要員の獲得・育成等の資金に使える補助金の創設。

- ・ GXの認証制定や取得すべき国際基準の推奨

中堅企業には過負荷な、国やエリアでまちまちな環境規制への対応の負担軽減。

- ・ 中堅企業支援の各種補助金の創設・拡充

中小企業支援の拡大転用として、国プロなど大規模・高難度ではない中堅企業の研究開発やシステム導入等にも使える自由度の高い補助金の設定。

行政への要望④

④中堅企業の継続発展に必要な人材の育成とノウハウの提供

必要なアクション

- ・ 真のDX人材の育成

単なる技術としてのデータサイエンス教育ではなく、本質を理解し、ロジカルシンキングが出来る人材の育成。

- ・ 文理隔たりの無い教育

理系にこそマネジメント（マネタリング）が、文系にこそデータリテラシーが必要。

文系理系という枠組み撤廃も検討の余地あり。

- ・ 人材・ノウハウ等金銭以外の補助

社内人材の育成方法や、ノウハウの指導など、大学や公的機関の有する情報の無償提供。

行政への要望⑤

⑤公的機関発の施策に対するPDCAの実行と継続的支援

必要なアクション

- ・ KGI、KPIの設定とPDCA実行

結果の集計・報告でなく、途中途中での予実確認と乖離対策の実行支援。

- ・ やりきるまでの伴走

やりきる覚悟の有る企業に金銭、ノウハウ、優遇措置などの手厚い援助。

政府にお願いしたいこと

地域社会と共に歩み、地域経済を支える意欲と覚悟の有る
中堅中小企業の社会的価値に光を当て、
そこに人材や技術、資金などの経営資源が集まり、
地域社会と教育と企業が成長のサイクルの環を形成できるよう
ご支援を

ご清聴ありがとうございました



SUG!no

ホントにすごい！超技術